福島県 双葉町

(基本方針)

- 双葉町の公共インフラは、「働く拠点」である中野地区復興産業拠点の整備に伴って必要となる道路、上下水道等の復旧を最優先とし、関係事業者との連携により早期機能回復に取り組む。
- また、「住む拠点」である駅西地区生活拠点事業におけるインフラ整備についても進めていく。
- さらに、双葉町復興まちづくり計画(第二次)を踏まえ策定した双葉町・特定復興再生拠点区域復興再生計画に基づき、放射線量の低減状況を最大の基準として各種事業の計画検討を進めるとともに、除染、そして生活インフラの復旧・整備を実施し、帰還可能な環境を早期に整備する。

(復旧の概況)

- 令和2年3月に避難指示解除された中野地区復興産業拠点の整備に伴い、アクセス道路と上下水道等のインフラが今後徐々に復旧していく見込み。
- また、中間貯蔵施設への除去土壌の輸送ルートとなっている道路については、避難指示解除区域・帰還困難区域を通じて、通行可能となっている。
- 上記以外の公共インフラについては、一部復旧済みまたは応急復旧により暫定供用が可能となっているが、今後順次被害調査を行い、災害査定を受検し、復旧工事に着手する予定である。

インフラ復旧の工程表(福島県双葉町)

令和2年3月末現在

→ : 工程が見込めるもの
 ●.....▶ : 工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	R元年度目標 (R元.8.9公表)	R元年度に実施 したこと(成果)	R2年度に実施 すること(目標)	R2年度				R3年度				R4年度				R5年度以降	備考・ポイント等
						4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
海岸																			
海岸帰還困難区域を除く地域	県	災害査定済み	1地区海岸の復旧工事進捗を図る。※双葉中浜	工事を完了した。 (双葉中浜地区海岸)	なし														
河川																			
前田川 帰還困難区域を除く地域	県	災害査定済み	1河川の復旧工事の進捗を図る。	1河川の復旧工事の進捗を図った。	1河川の復旧工事の進捗を図る。	→													
下水道施設																			
(避難指示解除準備区域) 下水道管渠等復旧事業	双葉町	震災による管渠の不等沈下や隆起により汚水流下の障害、管体やマンホールの損壊による漏水や湧水、マンホールポンプについては震災時より無通電のため調査未実施。津波被災地では、管内の土砂等の堆積。	①シンボル軸から処理施設までの下水道施設の実施設計、管路施設・マンホールポンプ建設工事の発注。 ②両竹地区の下水道区域除外合併処理浄化槽(個人設置型)の補助と町独自の補助を検討	①シンボル軸から処理場予定地までの下水管、マンホールポンプの工事実施。 ②両竹地区の下水道区域除外合併処理浄化槽(個人設置型)の補助と町独自の補助の案を作成 ③R2県浄化槽整備補助金要望	①シンボル軸から処理場予定地までの工事を完了させる。 ②両竹地区の下水道区域除外合併処理浄化槽(個人設置型)の補助による補助金要綱の一部改正	工事											下水道区域廃止に伴う受益者と下水道継続区域の受益者の平等性を保てるような制度づくり		
(帰還困難区域・拠点関連) 下水道管渠等復旧事業	双葉町		駅西・駅東地区の汚水管さよの基本・実施設計	①住民帰還までの災害復旧の調査設計工事の工程の作成 ②街中再生ゾーンの二次調査実施 ③1号汚水幹線マンホールの補修工事の実施	①拠点内の下水管路の被害調査、測量設計を実施し災害復旧を申請し査定を実施する。 ②1号汚水幹線マンホールの補修を実施する。	ブロック分けによる被害調査 測量設計 災害査定 災害査定 災害査定											一部災害復旧工事が残るが、供用しながら補修できる。 特定復興拠点内の既存管の下水道施設災害復旧事業の実施、不明水対策		
双葉浄化センター(処理場)	双葉町		処理施設の土質調査、基本設計・詳細設計を実施し、建設工事へ繋げる。	処理施設の土質調査、基本設計・詳細設計を発注した。	詳細設計を完了し、建設工事を発注する。	詳細設計 工事													
農地・農業用施設																			
農道	双葉町	盛土部崩落	予定なし	未実施	農道北目・渋川線、農道松倉線の除草作業予定	除草作業											災害復旧事業に該当する農道については、今後検討していきたい。		
ため池	双葉町	震災による堤体の沈下、クラック、法止め積ブロックのクラック、法枠・除波ブロックのズレ、斜樋や洪水吐コンクリートのクラック等被災状況は把握している。ため池栓を抜き水位低下させている。	①琵琶湖ため池調査設計については、令和元年度実施予定	琵琶湖ため池調査設計実施	①琵琶湖ため池ハザードマップ作成 ②琵琶湖ため池耐震性調査設計	①ハザードマップ作成 ②耐震性調査設計													
農地・農業用排水路	双葉町	沿岸部はガレキ・土砂の堆積、一部損壊	①工事実施予定 ②農地災害査定 ③蛭子堂・蛇神塚現況調査 ④中浜用水路調査設計	①前田地区水路補修工事実施 ②未実施 ③実施 ④実施	①営農再開支援水利施設等保全事業の委託・工事 ②中浜用水路測量設計委託 ③伐木・除根調査・工事 ④水路等環境整備 ⑤両竹地区農地災害査定	①委託・工事 ②測量設計 ③調査・工事 ④環境整備 ②整備工事 ③伐木・除根工事													
林道	双葉町	盛土部崩落	令和元年度実施予定	林道孫沢線倒木等除去工事実施	林道沢入線倒木等除去工事実施予定	復旧工事											災害復旧事業に該当する林道については、今後検討していきたい。		

→ : 工程が見込めるもの

●.....▶ : 工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	R元年度の目標 (R元.8.9公表)	R元年度に実施 したこと(成果)	R2年度に実施 すること(目標)	R2年度				R3年度				R4年度				R5年度以降	備考・ポイント等
						4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
除染																			
先行除染	国	幼稚園、病院施設等の除染実施済み																	
面的除染等	国	平成28年3月面的除染完了	必要に応じて、除染のフォローアップを実施する。	必要に応じて、除染のフォローアップを実施した。	必要に応じて、除染のフォローアップを実施する。														
仮置場	国	除染仮置場(4ヶ所)	除去土壌等の管理、輸送等による搬出、原状回復	除去土壌等の管理、中間貯蔵施設等への輸送、原状回復の実施	除去土壌等の管理、中間貯蔵施設等への輸送、原状回復	除去土壌等の管理、中間貯蔵施設等への輸送(掃還困難区域を除く)	原状回復												
(掃還困難区域) 特定復興再生拠点区域内の除染・廃棄物処理	国	計画に基づき、除染・廃棄物処理を実施	計画に基づき、除染・廃棄物処理を実施。	計画に基づき、除染・廃棄物処理を実施した。	計画に基づき、除染・廃棄物処理を実施	計画に基づく除染・廃棄物処理												計画の期間、令和4年8月31日まで(令和4年春頃までの避難指示解除)必要に応じて、除染のフォローアップを実施	
災害廃棄物処理																			
対策地域内廃棄物処理	国	(仮設焼却施設)稼働中	仮設焼却施設の運営を開始	可燃性廃棄物の焼却処理を実施	可燃性廃棄物の焼却処理を実施	可燃性廃棄物の焼却処理													
復興拠点																			
(避難指示解除準備区域) 中野地区復興産業拠点整備事業	双葉町	津波により地区の一部が流出	・用地取得(継続) ・実施設計・造成工事(継続) ・第1期分供用開始	・用地取得(92%) ・実施設計・造成工事(継続) ・第1工区の一部供用開始	・用地取得(継続) ・実施設計・造成工事(継続) ・第1期分供用開始	・用地取得 ・実施設計・造成工事 ・随時供用開始												平成30年度に一部供用開始 令和2年度に第一期開発区域全域の供用開始予定	
(掃還困難区域・拠点関連) 双葉駅西地区生活拠点等整備事業(住宅団地等)	双葉町		・用地取得 ・基本設計完了 ・実施設計 ・一部工事着手	・用地取得 ・住宅整備(県協定締結、基本設計着手) ・実施設計(造成) ・駅前・東西自由通路一部供用開始	・用地取得 ・基本設計完了(住宅整備) ・実施設計(住宅整備) ・造成工事着手	・用地取得 ・工事												令和2年3月一部供用開始(駅東西自由通路、駅東道路) 令和3年度未完成予定	

双葉町のインフラ復旧状況（令和元年度末現在） ※帰還困難区域を除く

工 種	復旧の状況	内 容	(参考) 事業完了時期
道路 (市町村管理)	▲	復旧 0 箇所／被災 1 箇所（森合橋）	令和 3 年度
河川 (市町村管理)	×	被災なし	
河川 (県管理)	○	復旧済 0 箇所／被災 1 箇所	令和 2 年度
漁港		該当なし	
海岸	◎	復旧済 2 箇所／被災 2 箇所	令和元年度
海岸防災林	○	海岸防災林造成（20.5ha） ・植生基盤盛土工 8.56ha/20.5ha ・植栽工 4.60ha/17.7ha	令和 3 年度
上水道 (双葉地方水道 企業団管理)	○	[配水] 復興産業拠点（中野地区）への給水	令和 3 年度末
下水道	○	シンボル軸上の一部管路等工事（管路 3 箇所）	令和 4 年度
農地・ 農業用施設	○	[用排水路] 被災調査済 3 箇所／調査依頼 4 箇所 （うち 3 箇所 H29～R1 調査・設計済、その他の設計・査定・工事は H R2 以降） [ため池] 被災調査済 1 箇所／調査依頼 1 箇所 調査済 0 箇所／調査予定 1 箇所 （設計・査定・工事は R2 以降）	未定
公共施設	○	産業交流センター（新設）建設中	令和 2 年度
	▲	[消防施設] 新設および復旧（防火水槽 2 件、消火栓 7 件） 被災状況調査中（地区公民館併設は除く） （屯所・収納庫 2 件、防火水槽 2 件、消火栓 12 件、詳細 調査・設計・工事は令和 2 年以降）	未定
医療福祉施設		該当なし	
文教施設		該当なし	
観光施設		該当なし	
住宅		該当なし	

除染	◎	[実施済] 面的除染が完了	平成 28 年 3 月
廃棄物処理	○	<ul style="list-style-type: none"> ・被災家屋等の解体撤去工事を実施中(28 件解体撤去済 /31 件申請受付済) ・仮設焼却施設 稼働中 	(実施中)

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、▲：未着手、／：該当なし、×：被災なし

双葉町のインフラ復旧状況（令和元年度末現在） ※帰還困難区域

工 種	復旧の状況	内 容	(参考) 事業完了時期
道路 (市町村管理)	○	災害復旧済 6 箇所／被災 57 箇所 新設・改良 3 箇所（双葉インター線、宮田橋、前田長塚線）	災害復旧未定 双葉インター線令和元年度末 宮田橋令和 2 年度末 前田長塚線未定
河川 (市町村管理)	×	被災なし	
漁港		該当なし	
海岸	▲	復旧済 0 箇所／被災 2 箇所 (細谷地区海岸、郡山中野地区海岸（帰還困難区域以外は完了))	未定
海岸防災林		該当なし	
上水道 (双葉地方水道 企業団管理)	◎	[双葉 IC]への管路復旧	(R 元年度末)
下水道	○	水処理センター実施設計、双葉 1 号汚水幹線の健全性確認	令和 4 年度
農地・ 農業用施設	▲	[用排水路] 被災調査済 9 箇所／調査依頼 10 箇所 (うち復旧 1 箇所、8 箇所 H29～R1 調査・設計済、その他の設計・査定・ 工事は R2 以降) [ため池] 被災調査済 25 箇所／調査依頼 25 箇所 (うち 1 箇所 R1 調査・設計済、その他の設計・査定・工事は R2 以降) [農道] 被災調査済 2 路線／調査依頼 3 路線 (うち 1 路線は R3 以降調査予定、その他の設計・査定・工事は R4 以降)	未定
公共施設	○	コミュニティセンター一部機能回復	未定
	▲	[消防施設] 新設及び復旧（消火栓 19 件） 被災状況調査中 (屯所・収納庫 10 件、防火水槽 28 件、消火栓 232 件、 詳細調査・設計・工事は令和 2 以降)	未定
医療福祉施設	▲	2 施設（まどか保育園、双葉町児童館） 現時点で復旧の有無を検討中	
文教施設	▲	3 施設（双葉南小学校、双葉北小学校、双葉中学校）に ついて方針を検討中	
観光施設		該当なし	

住宅		該当なし	
除染	○	町の特定復興再生拠点区域復興再生計画に基づき、除染を実施中	令和4年8月
廃棄物処理	○	町の特定復興再生拠点区域復興再生計画に基づき、廃棄物処理を実施中	未定

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、▲：未着手、／：該当なし、×：被災なし